

<学校名> 久喜市立太田小学校  
<所在地> 久喜市吉羽2-16-10  
<電話> 0480-21-0572  
<本事例の特徴>

令和2年度からシンガポール日本人学校クレメンティ校に派遣されている本校在籍の教諭の、シンガポールでの生活経験や日本人学校に在籍している児童へのインタビューを生かした、外国語活動における国際理解教育の取組について紹介する。

### <具体的な取組や成果>

#### ○外国語活動「国際理解教育」～シンガポールの2年生に日本の良さを伝えよう～

・事前の活動として、シンガポールの2年生に知りたいことを伝え、その答えとなる動画を、Googleの共有ドライブを活用して送ってもらった。今回の授業ではお礼に日本の良さを伝える動画を撮影した。また、短時間ではあるが、Google Meetを活用して現地にいる教員と実際に会話をしたり、現地の風景を映してもらったりと、海外の様子を疑似的に体験することができた。

#### ○送った動画は以下の6テーマである。

2年2組 > シンガポールのみなさんへ >



外国との違いが出そうなテーマを児童が考え、6グループに分かれて撮影をした。

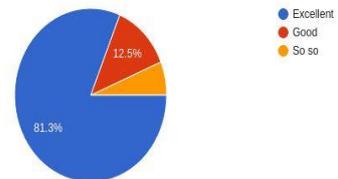
#### ○児童の振り返り

・2年生なので、フォームによるアンケートは選択式にして行った。

平素の授業でのアンケートは、「Excellent」の割合が4割くらいだったが、本授業の振り返りでは、8割を超えた。

体験的な学習の成果が出たと思われる。

今日の外国語のじゅぎょうはどうでしたか？  
32件の回答



#### ○授業を振り返って

・外国語活動で、外国のことを知ることはあっても、日本のことを外国の方に伝える活動はなかなか行えていなかった。今回、Googleのアプリケーションを活用すれば、国際理解への実感をもたせることができると思い、このような授業展開を考えた。今回の授業を通して国際理解は相互に行うことで、外国の良さや日本の良さを感じる心を育成することができると実感した。